

日 時：平成 27 年 6 月 23 日（火）13：30～15：00

場 所：緑町会館 401 号会議室

1. 開会

司会（一般財団法人山形県理化学分析センター 片桐さん）

それでは定刻となりましたので、はじめさせていただきます。本日は大変お忙しいなか、お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、平成 27 年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を開会します。私、本日、総会の司会を務めさせていただきます、会員の山形県理化学分析センターの片桐でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに、会長の柴田洋雄から、ご挨拶を申し上げます。

2. 会長あいさつ

（柴田会長）

こんにちは。お忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます。当フォーラムは平成 13 年に発足しておりますので、14 回目の総会になるかと思えます。

新しい活動は、短期間に 1 回か 2 回華やかに行うことは非常に楽であります。10 年以上続くというのは難しいと覚えているところです。それが 14 回まで来たということは、まあまあかなと感じています。立ち上げの時につくったプランが 100 年プランという形なので、100 年継続するためには、14 年なのでまだまだですが、継続するためには何が一番必要かを考えるのが、会長の一番の仕事ではないかと思っています。具体的なことについては各部長やいろいろな方からお考えいただくけれども、私の仕事として、継続するためには何ができるかを考えた時に、華やかなことでも良いけれども、地味でも一歩ずつ進めていくということが重要なのではないかと感じています。その意味で、現在は立ち上げ時から比べると、県内の 35 市町村全部がカバーしているということは一つ前進かなと感じるところです。立ち上げの時は名前のおり、最上川流域の市町村のみが参加していましたが、全市町村が参加するのが好ましい、特に顧問をお願いしている知事さんから「35 市町村が参加しないと、この運動はうまくいかないですよ」とのアドバイスを頂いたので、35 市町村さん全てにお願いをして、お陰さまでご参加いただくことができています。他にも金融機関さん始め、いろいろな企業の方から参加していただいています。これも非常に重要なことで、我々がこれまで表彰された際に理由を尋ねると、会員数が多いことも大きなところ。あとで説明あるかと思いますが、4,200、4,300 位の会員がおります。これは多くの方々が続いて協力してくださっていることではないかと思っています。こういう形でこれまでのフォーラムについては、14 年にしては成功かなと思っているところです。しかし、成功に胡坐をかくのではなく、県民の方々から少しでも、山形県の環境問題を考えるならばフォーラムが何をやっているか調べれば良いというようになってくれば、成功かなと思っておりますので、もう少し幅広く行っていきたいと思っています。立ち上げは環境問題ですが、環境問題を進めるためには、経済が

きちんとしていないといけないということで、地域の経済が元気であることが大事だということもこの会の特徴です。農業、林業、製造業などいろいろありますが、地域が元気になるためにも、フォーラムとして何か考えていかなければならないと思っていて、環境と経済、それから100年続けていくためには子供たちの教育といった時代を超えて継続できるように考えていかなければならないと思っております。

そういう意味で本日の総会は年1回だけ行われますが、皆さんから忌憚のないご意見をいただいて、このようにすればもう少し継続が力強くなるということをお教えいただければ、私としては非常にありがたいと思っております。本日もよろしく申し上げます。

司会（片桐さん）

どうもありがとうございました。

ここで、美しい山形・最上川フォーラム顧問である、吉村美栄子山形県知事よりご挨拶を頂きたいと存じます。山形県企画振興部高橋部長よりご披露お願いいたします。

ご挨拶披露（高橋部長）

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介をいただきました、県の企画振興部長をしております高橋でございます。皆様には本フォーラムの活動はもとより、県政の様々な場面でご協力をいただいております。この場をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。吉村知事には本日議会の開会中ということもございまして、本席への出席が叶いませんので、私の方からあいさつを代読させていただきたいと存じます。

美しい山形・最上川フォーラム平成27年度通常総会の開催にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。貴フォーラムにおかれましては、平成13年に設立されて以来、山形県の母なる川「最上川」を美しい山形づくりのシンボルに掲げ、水環境の保全や文化の継承、さらには地域経済の活性化などに資する事業を、県内各地の様々な方々との連携のもと精力的に進められてこられました。会員の皆様におかれましては、山形の豊かな自然や文化を後世に引き継ぐために日々御尽力いただいております。心から敬意を表する次第でございます。

さて、いま地方創生が叫ばれておりますが、住み続けたいという思いを起こしたり、国の内外を問わず交流人口を拡大させるためには、地域の魅力を高めることが重要です。美しい山形・最上川フォーラムと美しい多摩川フォーラムが中心となって取り組まれております「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」は多くの方々が東北を訪れ、東北の持つ様々な豊かさや魅力に直接触れる貴重な機会になるとともに、私たちが決して忘れてはならない東日本大震災の継続的な復興支援につながるものと考えております。県におきましても、来年秋に開催されます「第36回全国豊かな海づくり大会」などを通して、皆様の手で守り育てられております山形の美しさや魅力を大いに発信して参りたいと考えております。

結びに、美しい山形を子供たちや若者に残していくために、これからも力強い活動が展開されますことを期待いたしますとともに、皆様の益々の御活躍を心からご祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成27年6月23日、美しい山形・最上川フォーラム顧問 山形県知事 吉村美栄子

今後ともよろしく願いいたします。

司会（松本さん）

どうもありがとうございました。

次に本日出席の役員を紹介させていただきます。それでは名簿順にご紹介いたします。

（役員を紹介）

なお、本日は関係機関様にもご出席いただいております。

高橋委員は、ここで所用により退席させていただきます。

それでは次第に従いまして、進めて参ります。総会の議長は、規約第10条第3項の規定により、会長が行うことになっております。柴田会長、議長席へ移動をお願いいたします。

3. 議事

議長（柴田会長）

それでは本日の議事に入ります。議事は第1号から第3号まで3つありますけれども、議事録署名人について、指名の方法で何かご意見ないでしょうか。

なければ、事務局から提案いただいて、その方をお願いしてよろしいでしょうか。

（会場異議なし）

事務局（伊藤事務局長）

議事録署名人につきましては、戸津智也さんと山田寛爾さんをご提案させていただきます。

議長（柴田会長）

よろしいでしょうか。ただいまの事務局からの提案に異議が無ければ、お二人に議事録署名人としてお願いしたいと思います。

（会場異議なし）

議長（柴田会長）

それでは戸津智也さんと山田寛爾さん、よろしく願いいたします。

議長（柴田会長）

では議事に入りたいと思います。

（1）平成26年度事業報告及び決算案

第1号議案の平成26年度事業報告及び決算案について、説明があったあと、皆さんから質問をいただきますが、質問される場合は記録のため、その場に立ってマイクでお話いただきたいと思います。最初に清流・環境対策部会長の菅原さんからです。

菅原部会長

それでは平成 26 年度事業報告の中での、清流・環境対策部会についてご報告申し上げます。主要なものは 4 つほどございますので、最初の文章を読ませていただきます。

「捨てない・すてさせない in 最上川」キャンペーンによるゴミ発生源対策は、25 年度から取り組んでいる小水路へのごみトラップの設置、スポーツ GOMI 拾い大会の開催をより多く実施し、「海岸漂着物問題」を全県で展開して普及啓発に努めた。クリーンアップ・キャンペーンは、活動の拡大や効率化を図るため、申し込み箇所や日程、調査結果をホームページに掲載し、随時更新。また、参加団体とのコラボレーションによるスポーツ GOMI 拾いと同時開催も行い、参加者に海岸漂着物問題について、より身近に考えていただける機会となった。身近な川や水辺の健康診断は、小中学校への調査サポートを会員の協力のもと積極的に行い、大人数・初参加でも調査しやすいよう対応した。もがみがわ水環境発表会は、特に「かべ新聞」の小学生が学校単位で発表に加わり活気のあるものとなった。また、高校生の独創的な研究内容は専門家から高く評価いただき、参加者同士の情報交換が今後の活動の継続を促すものとなった。

これから各項目についてご説明申し上げます。

最初に「1 第 13 回身近な川や水辺の健康診断」これは実施期間が 6 月 7 日から 6 月 15 日まで、学校関係の方が調査なさる場合は 6 月 7 日から 8 月 1 日まで。夏休みの期間を含むものとさせていただいております。主な調査内容は、透視度計による透視度調査、パックテストによる水質調査でございます。パックテストの内容は記載のとおりです。ほかにゴミや川の中や水辺の生きもののすみ場の様子など水辺環境の簡易目視調査も行っております。水生生物調査については、山形県環境科学研究センター様と連携して、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断と同時申込み可能とさせていただいております。参加申込みの実績は、98 団体・1,030 名・249 箇所です。調査実施した結果としては 95 団体・1,025 名・243 箇所となっております。平成 25 年度と 26 年度との比較対象について、各地区毎の結果は表のとおりでございます。また年度別の平成 14 年から平成 26 年までの 13 回にわたる参加団体数・人数・調査地点の実施状況も表のとおりでございます。事業に対するご支援をいただいております。国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所様、酒田河川国道事務所様、新庄河川事務所様よりパックテストと比色カードのご支援をいただいております。また、公定法による調査について記載ございます団体様より協力をいただいております。参加者への現地調査サポートとしましては、参加団体からの要請に応えまして、会員専門機関や地域部会のご協力により行っております。公益社団法人山形県水質保全協会様、しらたかサイエンスクラブ様でございます。調査結果集計は平成 25 年度に引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会様の協力を得て、データを作成し、報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載。あわせて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載いたしております。

2 つめ「第 12 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」でございます。実施期間が 8 月から 10 月で、参加申込みは、55 団体 1,456 名いただいております。データカード作成にご協力いただいたグループに活動経費の一部を支援しております。一律 3,000 円でございます。25 年度 ICC データカードに対応し改訂したデータカードのその他の項目の中に、農業系のごみの記入箇所を入れ、地域に対応したものにしております。活動の効率化を図るため、参加申込み状況や調査結果をフォーラムホームページの「最上川環境マップ」へ掲載し随時更新しております。参

加の 53 団体・1,510 名の内訳については表のとおりです。年度別の参加状況についても表のとおりでございます。クリーンアップキャンペーン参加数について JEAN のホームページにありますものからすると、会場数につきましてはこの 4 年間ほど第 1 位でございます。参加者数についても 1, 2, 3 位、回収した水辺等の長さについても第 1 位という実績がございます。イベントとのコラボレーションも行っております。事務局にて広報協力したり、キャンペーンの際、概要説明の実施、参加等しております。① 「AQUA SOCIAL FES!!2014」～最上川クリーンアップキャンペーン～ということで、参加者計 約 190 名、6 月 29 日に最上川河川緑地公園で、10 月 4 日に道の駅チェリーランド河川敷公園でコラボレーションしております。② 水土里ネット三郷堰で 9 月 9 日「ふれんどしっぷ水辺の郷サミット」として行っております。3 つ目「ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」でございます。(1)「川～海をつなぐ美しい元気な山形づくり」業務ということで、① 小水路ごみトラップ(簡易柵)の設置でございます。20 主体による 36 箇所に設置させていただいております。海岸漂着物問題対策として、陸域部における河川へのごみ等の流入削減のために設置しております。箇所の選定にあたっては、設置希望があり設置後のゴミ回収等の維持管理が各自で可能な場所への設置といたしております。市町村、アダプト団体、土地改良区、個人等からの要望を受けて、現地を下見しその場所にあった柵を手作りに近い状況で製作して設置しております。2 つ目がスポーツ GOMI 拾い大会の開催です。荒天のため中止したこともございますが、35 回開催しております。参加者数は延べ 1,271 名となっております。海岸漂着物問題対策の普及啓発として県内各地で、市町村や地域の団体等の協力をいただきまして実施しております。開催時には、参加者に対して普及啓発用パンフレットを配布しております。③ 海岸漂着物対策を担う地域リーダー育成講座の開催をいたしております。6 月 21 日、11 月 29 日、12 月 14 日、2 月 28 日に記載のとおり実施しております。(2) 海岸漂着物問題対策との連携としましては、「第 12 回海ごみサミット 2014 山形・庄内会議」の共催を行い、参加しております。7 月 24 日フィールドワークを酒田市飛島西海岸、7 月 25 日全体討議、26 日連携開催ワークショップを鶴岡市マリカの市民ホールで行っております。(3) ホームページ「最上川環境マップ」の整備は、クリーンアップ活動の効率化を図るため実施予定日程・場所をマップに掲載し、随時更新しております。クリーンアップと水辺の健康診断の調査結果・スポーツ GOMI 拾いの開催予定・結果を掲載しております。「4 第 10 回もがみがわ水環境発表会」でございます。山形県環境科学研究センターと連携し開催いたしております。県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人、団体、学校(小・中・高・大学・大学院)、研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表する場といたしております。11 月 9 日に山形県村山総合支庁講堂及び 201 会議室において実施いたしております。参加者 110 名いただきました。協賛として、記載の団体からご支援いただいております。また記載のとおり後援いただいております。実行委員は実施主体としては、清流・環境対策部会、山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所および山形県となっております。発表は口頭発表セッション 9 団体、ポスターセッション 11 団体ございました。うち「かべ新聞」で小学生が 2 団体で合計 20 団体の発表をいただきました。基調講演には東北大学大学院工学研究科客員教授でいらっしやいまして、特定非営利活動法人環境生態工学研究所理事長の須藤隆一様より「水環境保全の課題と展望—きれいな水を未来まで—」と題しましていただいております。開催案内チラシを作成し、身近な川や水辺の健康診断参加者、関係団体、県内小中高校、大学、環

境 NPO 団体、各市町村広報担当等へ配布させていただいております。村山総合支庁、遊学館、山形県産業科学館、山形市総合学習センター、山形大学へチラシとポスターの掲示の依頼を行っております。講演要旨集のカラー版をフォーラムホームページに掲載しております。5 つめ「美しい水辺づくり功労賞」は「もがみがわ水環境発表会」の時に表彰させていただいております。「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上へ向けた具体的な活動を実施している団体、環境教育に貢献している 3 団体さんを表彰いたしております。受賞団体は、一般社団法人茶道裏千家・富士見庵東海林社中／社会福祉法人最上梅檀会児童養護施設双葉荘中・高生、連名受賞でございます。長瀬・二の堀を愛する会、村山高瀬川の鮭と環境を守る会でございます。表彰状および副賞を贈呈しております。「もがみがわ水環境発表会」講演要旨集へ活動紹介を掲載しております。さらにポスターを作成し会場にて掲示を行い、縮小版を受賞団体へ進呈いたしております。また、ホームページにも掲載いたしております。「6 報告書「笑顔を写す山形の川」」の作成を行っております。「身近な川や水辺の健康診断」、「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果等の報告書を 2,000 部ほど作成しております。「7 広報啓発」環境展のブースに出展し、パケットテスト、透視度計を使った河川の水質調査の体験をしてもらい、清流環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めております。9 月 21 日「環境フェアつるおか 2014」ブース、10 月 25 日、26 日「やまがた環境展 2014」ブースでございます。以上 7 つの事業について活動報告を申し上げます。

議長（柴田会長）

はい、ありがとうございました。続いて、最上川文化・地域活性化部会について本間さんからお願いします。

本間部会長

部会長を務めております本間でございます。座って説明させていただきます。まず事業の大項目を読み上げさせていただきます。

「最上川夢の桜街道づくり」は市町村の要望を通して、桜の維持管理や植栽活動に支援するとともに「東北・夢の桜街道」の札所選ばれている県内の桜も含め、維持管理を推進。東日本大震災復興支援プロジェクト活動を「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして行うと共に、県内の札所の桜への働きかけを行った。写真コンテストはやまがた社会貢献基金の平成 26 年度協働助成事業（テーマ希望型）で「荘内銀行 次代に繋ぐ山形の豊かな自然～」の寄付を活用し、「美しい元気な山形づくり写真コンテスト～次世代に繋ぐ川と人～」を開催しました。県内各地での入賞作品写真展の開催や入賞作品を使用した絵葉書を作成し、山形の河川など豊かな自然を広く発信し、次世代に美しい元気な山形を繋いでいく取組みを推進しております。流木削減や森林整備を促し経済活性化を図る環境先進都市づくり構想～次世代木質建築協議会は、25 年に引き続き「木材利用推進セミナー」を全国の 7 会場で共催し、地域産木材の利用推進による地域経済の活性化などを全国に発信したということでございます。

事業の第 1 に「最上川夢の桜街道づくり」、これは最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業ですが、会の予算とヤマザワ会様から一部ご寄付いただき、市町村を通じて支援しておりま

す。14市町村・16団体でございます。みどり推進機構主催で講演を執り行いましたが、それに最上川フォーラムで後援をしております。講師は大場秀章様で、日本樹木医会の山田先生からいろいろお手配をいただき、開催されたものであります。2つめ「東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」」この事業であります。2011年に20,000人の犠牲者を出した大震災を受けてのもので、先ほどの知事さんのご挨拶にもありましたように、東北を元気にしようということで始めたものですが、26年度は岩手県盛岡城址公園で開催させていただきました。毎年であります。元NHKの平野啓子さん、大変お美しい方ですが、この方から瀬戸内寂聴さんが書かれた桜の物語を朗読していただいております。これまで、福島・宮城・岩手と行って、27年は弘前で行わせていただいております。次に秋田県横手市で会長が出席をして「東北・夢の桜街道推進協議会」平成26年度総会が行われております。それから「最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業」により要望があった山形県内の札所の桜の維持管理等を推進しております。会長と私の2名で現地に行って視察しております。次に3番目「夢の桜街道～さくら物語～」の発行ですが、会員の皆様にはもうお届けになっているかと思いますが、あのような機関誌を発行させていただきました。次、4番目「夢の桜街道キャンペーン」ですが、4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催し資料・啓発物品の配布を行っております。そのほか柴田会長、本間最上川文化・地域経済活性化部会長、事務局で県庁玄関にて会員拡大を呼びかけております。7月の半ばに7時半に集合しまして、県庁の南側正門と北門に配置しまして申込書をお渡しして、県庁の方々に会員の拡大の呼びかけをさせていただきました。27年度の啓発物品については、「美しい元気な山形づくり写真コンテスト～次世代に繋ぐ川と人～」入賞作品を使用したポストカードを作成しております。次に5番目「環境先進都市づくり構想～次世代木質建築協議会～」は河川ごみの多くを占める流木を削減するため、22年から開始した官・民・学からなる新しい公共の多彩なメンバーで、その都度ゲストを迎えながら勉強会を定期的に開催しております。第1回は7月1日、あとは順次記載のとおりです。議事概要についてはホームページに掲載しておりますので、ご覧いただきたいと思っております。25年度に引き続き、全国7箇所で「木材利用推進セミナー」を共催し、新しい公共活動を全国に向けて広く発信しております。全国7箇所には会長が出席しお話ししておりますので、詳しくは会長からお聞きになっていただければと思っております。次に「写真コンテスト」ですが、26年度は荘内銀行さんからの「次代に繋ぐ山形の豊かな自然～」というテーマをもって、事業コンペにより私どもが採択されて、支援を受けて事業をさせていただいたという経過がございます。この写真コンテストの審査会は12月8日にご覧のとおり行われております。応募数は206点ですが、ちょっと残念なのは、中学生・高校生の作品が少なかつたかなということです。ただ、一般の部では大変素晴らしい作品が出ておりましたので、本当に良かったと思っております。表彰式、入賞作品については、ご覧のような形でやらせていただいております。また、県庁ロビーで皆様方にお見せしたいということで、お願いをし、コーナーをつくっていただき、2月24日から27日まで展示させていただきました。

「写真コンテスト受賞作品写真展」ですが、山形空港ビル、クアハウス基点で記載のとおり日程で開催されております。「かわとぴあ2014in山形」ではこれまでの最優秀賞受賞作品と「水辺の四季写真コンテスト」受賞作品を中心に展示しております。9月14日に芋煮会の会場で展示させていただきます。最後に「ホームページの更新」ですが、ご覧いただいている

状況になっておりますが、皆さんからご希望があれば事務局の方に「このように出したら良いのでは」など教えていただければ大変ありがたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。続きまして、地域部会等について伊藤事務局長からお願いいたします。

伊藤事務局長

地域部会でございますが、地域の特性や会員のニーズを踏まえ、最上川の歴史・風土・文化等についての学習会や桜守研修会を実施しています。実施に当たっては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っております。

まずは置賜地域部会でございますが、「身近な川や水辺の健康診断」事前指導・調査サポートの実施等でございます。こちらは「身近な川や水辺の健康診断」の参加依頼を白鷹町小学校全校に継続した働きかけを行っております。また、しらかサイエンスクラブ高山団長を中心に、水質調査の事前指導・調査当日のサポートを川西町、高畠町、白鷹町の3小学校において実施いたしております。やまがた夜話「続・最上川を学ぶ」は大学コンソーシアムやまがたにて講師として参加しております。置賜地域部会の幹事であります本木さんが「最上川と羽黒神社」と題して、これまでの紙芝居作成の取組みなどについて紹介いたしております。紙芝居「最上川を渡る獅子」のDVD上映も行っております。10月15日会場はゆうキャンパス・ステーションで行っております。「大淀いよいよいよいよ「美術館に遊びにおいで」」では紙芝居「お羽黒さまの大杉物語」を上演しております。1月11日村山市真下慶治記念美術館で、村山地域部会と合同で参加しております。それから、尾花沢市福原地区芸能ふれあいまつりで紙芝居のDVD上映ということで、2月15日福原小学校体育館で行っております。また、平成26年度置賜地区自作視聴覚教材コンクールにて紙芝居「最上川を渡る獅子」が社会教育部門で特選。また山形県自作視聴覚教材コンクールにて入選しております。村山地域部会では「スポーツ GOMI 拾い大会」運営スタッフとしてご覧の大会に参加協力しております。また、「やまがた環境展 2014」出展ブースにてスタッフとして協力しております。他に先ほど説明した「美術館に遊びにおいで」は置賜地域部会との合同参加でございます。最上地域部会でございますが、「もがみの湧水調査の会」を実施しております。こちらは平成19年に発行した「もがみの湧水」地図をもとにその後の湧水の現状を把握すると共に湧水を守る方策を検討ということで、26年度は新庄市と舟形町を調査しております。それから「桜を守り育てる研修会」の実施ということで、樹木医の山田先生から講師としてご指導いただき実施しております。また先ほど説明があった「美しい元気な山形づくり写真コンテスト～次世代に繋ぐ川と人～」入賞作品写真展の新庄会場で、会場設営や撤去、会場管理のスタッフとして協力しております。庄内地域部会ですが、「サクラを守り育てる研修会」を鶴岡市都市計画課の協力のもと開催しております。ご覧の場所で行っております。こちらも樹木医の山田先生に講師としてご指導いただいております。

それから、通常総会、運営委員会、合同部会についてはご覧のとおりです。

その他、委託事業・助成事業・連携事業などがございますが、1番目「平成26年度川～海をつ

なぐ「美しい元気な山形づくり」業務」ということで、山形県循環型社会推進課様からの受託でございます。委託料 20,742,000 円です。これは 小水路ゴミトラップ（簡易柵）の設置、スポーツ GOMI 拾い大会の実施、海岸漂着物対策を担う地域リーダーの育成講座の開催というところでございます。2 番「やまがた社会貢献基金「団体支援助成事業」」で「やまがた社会貢献基金」に寄せられた寄付を活用して「水環境保全による美しい元気な山形づくり推進事業」、助成額 1,400,000 円でご覧の 3 つの事業に活用させていただいております。3 番「やまがた社会貢献基金「協働助成事業（テーマ希望型）」」というところで、これは先ほどからありました 荘内銀行様からの助成で写真コンテストを開催し、入賞作品写真展や広報用絵葉書を作成して活用しております。次の「みちのく国づくり支援事業」は、東北地域づくり協会様から事業名「最上川をきれいに『ゴミを捨てない県民運動』」というところで支援額 200,000 円いただいて、ホームページ「最上川環境マップ」の発展改修などをやっております。それから 5 番、山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加をしております。それから「美しい多摩川フォーラム」との連携事業ということで、「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」を推進しております。7 番目、各種助成事業・基金への応募や寄付など働きかけを行っております。やまがた社会貢献基金、みちのく国づくり支援事業、山形市コミュニティファンド、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 Web 約款寄付のご支援いただいたりしております。以上です。

議長（柴田会長）

これらの活動の裏づけとなった平成 26 年度事業決算報告について事務局から説明させていただきます。

事務局（佐藤）

それでは事務局より平成 26 年度収支決算案をご説明いたします。まず、収入の部でございますが、会員の皆様からの会費収入が、5,973,170 円、県負担金 400,000 円、山形県委託事業「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務の委託料が 20,742,000 円、夢の桜街道積立金から 2,500,000 円、前年度からの繰越金が 1,289,234 円、諸収入といたしまして「やまがた社会貢献基金団体支援助成事業」、「やまがた社会貢献基金協働助成事業（テーマ希望型）」、また「株式会社ヤマザワ様の桜街道づくりへの寄付」「もがみがわ水環境発表会の協賛金」「みちのく国づくり支援事業」「あいおいニッセイ同和損保 web 約款寄付」の各ご支援と、預金利子などを合わせ 2,555,203 円となっております、以上収入額の合計が 33,459,607 円となっております。支出の部は、運営費が 5,377,317 円です。事業費は 21,566,770 円で、①から⑩の事業に充当し、各事業費はご覧のとおりとなっております。予備費といたしまして 3,324 円を「最上川流域地域づくり推進協議会」の会費として支出しております。他に、フォーラム基盤強化積立金が 1,000,000 円、夢の桜街道への積立金が 3,500,000 円となっております。以上、支出額合計が、31,447,411 円となっております。差し引き 2,012,196 円を平成 27 年度への繰越金とさせていただきます。また、各積立金につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」の 26 年度の期末残高が 2,109,119 円、「夢の桜街道積立金」の 26 年度期末残高が 3,500,000 円となっております。以上簡単ですが、平成 26 年度の収支決算案の説明を終わります。

議長（柴田会長）

はい、ただいまの収支決算の裏づけで監査をいただいておりますので、監事から監査結果についての報告をお願いしたいと思います。

監事（佐藤監事）

監査を務めました佐藤でございます。先日、平成26年度の緒証拠書類、関係資料を見させていただきました結果、相違なく正当であると認めます。併せて事業の内容につきましても、監査させていただきましたこと、正当であることをここに認めて報告いたします。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。これで第1号議案である平成26年度事業報告及び決算案、監査について報告ありました。これから皆さんからご質問、ご意見を賜りたいと思いますが、先ほど申しあげたように記録をとる関係上、手を上げてマイクを使っただきたいと思っております。どなたでも結構ですので、ご遠慮なくどうぞ。

（会場意見なし）

よろしいでしょうか。

特に無ければ第1号議案の平成26年度の事業報告及び決算案については原案のとおりお認めいただいたということにさせていただくことでよろしいでしょうか。

（会場異議なし）

（会場拍手）

（2）平成27年度事業計画及び予算案

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、第2号議案の平成27年度事業計画案及び予算案についてです。こちらについてもそれぞれの部会長、事務局から説明させていただきます。最初に清流・環境対策部会からです。

菅原部会長

それでは、第2号議案の平成27年度事業計画案の清流・環境対策部会に関することについて説明申し上げます。まずは最初の部分を読ませさせていただきます。

「美しい元気な山形づくり」のもとに、環境保全と経済活性化を両立させる活動の継続実施を目指す。これまで長年取り組んできている「身近な川や水辺の健康診断」「クリーンアップキャンペーン」「もがみがわ水環境発表会」等を継続実施する。また、「捨てない・すてさせない in 最上川」キャンペーンによるゴミ発生源対策は、「海岸漂着物問題」を引き続き全県で展開するため、

25年度から実施し広まってきているスポーツ GOMI 拾い大会の継続実施や出張講座を実施し、普及啓発していく。続けて最上川文化・経済活性化部会についても読ませさせていただきます。最上川夢の桜街道づくりは、市町村を通じた桜の植栽や維持管理への支援に加え、樹木医の派遣等により維持管理を強化する。10年の折り返しの年になる「東日本大震災復興プロジェクト」や「舟運文化シンポジウム」の開催など東北復興や県内観光、最上川の文化・歴史的資産の掘り起こしによる交流人口の増加を期待し、これまでの活動を継続していくということです。

清流・環境対策部会の各事業については、「1 身近な川や水辺の健康診断」は本年も6月6日から6月14日まで、学校などで調査の場合は7月31日までを実施期間としております。参加の広報を行っております。参加グループ数は100グループ、調査地点数は250地点を想定しております。実施検討会を4月21日に開催しております。26年度と同様に国・県の関係行政機関、地域部会、大学、地域で環境保全活動に携わっている方々から集まいただき、実施体制など詳細について検討・決定いたしております。調査補助指導者の派遣は、新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調査補助を積極的に行うこととしております。透視度計につきましては、例年通り、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に貸出しております。調査結果集計は、26年度に引き続き公益社団法人山形県水質保全協会様よりご協力いただきデータを作成する予定です。「2 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」(1)参加を広報する予定です。参加グループ数は50~60グループを想定しております。1グループ当たり一律3,000円の支援費を想定いたしております。26年度と同様でございます。イベントとのコラボレーションを継続し、波及効果を狙ってまいります。「AQUA SOCIAL FES!!2015」第1回は7月11日グリーンパーク(河北町)第2回は9月5日(村山市)でコラボレーションする予定ですが、これについては別冊に記載してございます。「3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」(1)「川~海をつなぐ美しい元気な山形づくり」業務の①スポーツ GOMI 拾い大会の開催でございます。このような別紙チラシが何部かございます。26年度に引き続き海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して開催してまいります。今年度は15回以上の開催を予定いたしております。現在のところ5月23日金山町、6月21日ふるさと OMOIYARI プロジェクト米沢・川西、6月28日モンテディオ山形、7月12日七日町、7月26日新庄市、9月19日モンテディオ山形、7月11日・8月30日湯野浜、その他にも計画はかなり立ってきておるのですが、15回を目処に計画を作成しております。②海岸漂着物問題普及啓発の実施は「身近な川や水辺の健康診断」に参加する小・中学生等フォーラムの活動に参加している子供達等に対して出張講座を行います。10回以上の実施を予定しております。③小水路ごみトラップ(簡易柵)の設置箇所のフォローアップを行います。5箇所を予定しております。回収ごみの種類の把握、消耗品の補充、柵の点検等のフォローを行います。(2)山形県海岸漂着物推進協議会との連携活動を行います。(3)川ごみ団体との連携活動を行います。(4)「最上川環境マップ」の整備を行います。クリーンアップキャンペーン、スポーツ GOMI 拾い大会の参加申込みや結果を随時更新し、実施場所の効率化を図ってまいります。「4 もがみがわ水環境発表会」(1)運営準備会議を2回開催し、実施詳細の検討を行い決定いたします。(2)小・中・高校生の参加を推進いたします。水辺の健康診断実施団体などへの発表の働きかけや小学生については、「かべ新聞」で発表者の拡大を図ります。発表

団体特に中高生に対し、全国レベルの発表への参加を働きかけます。(3)発表テーマを広く水環境を考える内容のものとして募集してまいります。「5 美しい水辺づくり功労賞」(1)27年度も引き続き実施してまいります。(2)表彰式は「もがみがわ水環境発表会」にあわせて開催いたします。(3)これまでは「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上への具体的取り組みを実施している団体や、環境教育へ貢献している団体を表彰していますが、「もがみがわ水環境発表会」の運営準備会議で表彰基準について、更なる内容が無いか新しい項目で検討できないかということをしている検討してまいります。「6 報告書「笑顔を写す山形の川」は「身近な川や水辺の健康診断」と「クリーンアップ・キャンペーン」等の結果報告書を例年のとおり作成いたします。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続いて、最上川文化・地域経済活性化部会について、本間さんからお願いします。

本間部会長

それでは、最上川文化・地域経済活性化部会から説明させていただきます。「最上川夢の桜街道づくり」であります。最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業としまして、35市町村から予算の関係もありますので、10団体程度に支援をしたいと考えております。それは植栽後の手入れ作業・研修が一つです。それから全県的な桜守育成で、今まで植えた桜の現場を見ますと結構病気に罹っている、テングス病がかなり多いということもあまして、桜も随時手入れをしていかないと立派に育たないということがあります。これを地域部会の協力をいただいて教育をしていきたいということでもあります。それから維持管理に関しては、相談の要望のあった市町村等に対して樹木医を派遣する事業を考えております。次に「東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」」であります。例年どおりやらせていただく予定です。今年度は先ほどお話し申し上げましたが、5月1日青森県の弘前公園で既に「第4回“美しき桜心の物語”の語り会」が終わっております。来年は秋田を予定しておりますが、この語り会には、時間が取ればぜひご参加していただきたいと思っております。10年プロジェクトの折返しの年でもありますので、東北6県の知事さんからお集まりいただいてサミットを開催したいという予定をしております。それから「夢の桜街道～さくら物語～」の発行ですが、事業報告を主とした機関誌として発行してまいりたい。次に「夢の桜街道キャンペーン」であります。4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催をし、資料・啓発物品の配布を行うということでもあります。啓発物品に関しては、今のところ絵葉書であります。他に別なもの、こういうのがいいのではないかというものがあれば検討してまいりたいと思っております。「環境先進都市づくり構想」であります。木材関連産業振興に向けた協議を行い、全国に向けた発信を続けてまいりたい。それから「写真コンテスト受賞作品写真展」は、これまでの写真コンテスト受賞作品の貸出しを希望者に対して随時行う。また「かわとぴあ」などイベント会場での出展の機会を利用し展示をさせていただきたいと思っております。次に「舟運文化シンポジウム」であります。隔年開催となっております。最上川でつなぐ紙芝居にからめたシンポジウムの開催を検討しております。地区

については事務局で検討させていただきたいと考えております。「ホームページの更新」であります。先ほども申し上げましたが、皆さんほとんどの方が最上川フォーラムのホームページをご覧になっているかと思いますが、前から見ると大分良くなってきております。これからも、なお見やすい・楽しいというホームページに整備をしてみたいと思っております。ただ、皆さんから情報を提供していただくということも考えて、投稿フォームを作成しましたので、ご覧になっていただいでご投稿をよろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

それでは、続きまして地域部会等の説明をお願いします。

伊藤事務局長

地域部会につきましては従来とほぼ同じでございますが、今年度は組織の強化を図るため、副部会長の導入を検討させていただきます。

置賜地域部会についてはこちらに書いてございますが、「真下慶治と最上川～真下慶治記念美術館長のギャラリートーク」を白鷹町のあゆ一むで開催する予定ですが、この日程が先にお送りしております議案書と違ってございまして、6月28日（土）となっております。それからしらかサイエンスクラブによる地区小学生への川に関する環境教育と米沢市への国道からの玄関にあたる最上川河川敷でのヒマワリ植栽を検討しております。村山地域部会につきましてはご覧のとおりです。最上地域部会につきましても従来と同様の活動を予定しております。庄内地域部会につきましてもご覧のと通りの活動を実施するということで検討しております。

総会、運営委員会、部会につきましてはご覧のとおりでございます。それから助成事業・委託事業につきましては、「平成27年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」ということで山形県の委託事業を受託しております。それからみちのく国づくり支援事業「最上川をきれいに「ゴミを捨てない県民運動」それから山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加。「美しい多摩川フォーラム」との連携事業として東北・夢の桜街道推進協議会のメンバーとして「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八カ所巡り」の推進を行ってまいります。5番目、各種助成事業・基金への応募や、寄付などの獲得、その活用についても検討をしてみたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、平成27年度の予算書の案についてですが、今年度の事務局の体制は昨年度と同じように2名体制を考えております。それに基づく予算編成になっております。これについて説明させていただきます。ではお願ひいたします。

事務局（佐藤）

それでは平成27年度収支予算案を事務局よりご説明いたします。はじめに、収入の部です。会費収入が5,400,000円、県負担金が400,000円、山形県委託事業「川～海をつなぐ美しい元気な山形づくり業務」の委託料が5,991,000円、夢の桜街道積立金より3,500,000円、繰越金が2,012,196円、諸収入には山形信用金庫様の「東北夢の桜街道寄付金」、「みちのく国づくり支援

事業」による助成金の各ご支援と、預金利子などを合わせまして 250,804 円です。以上収入の合計額は 17,554,000 円となっております。次に、支出の部です。運営費が 9,800,000 円で、内訳は交通費 200,000 円、需用費 800,000 円、役務費 900,000 円、使用料は事務局のこの緑町会館の賃借料を含めまして 700,000 円、事務局員費は事務局員 2 名分の給与、社会保険料、雇用保険料等といたしまして 7,200,000 円を見込んでおります。事業費は 7,700,000 円で、内訳は①から⑩のとおりです。予備費が 54,000 円。以上支出合計額は 17,554,000 円です。また、積立金の期首残高につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」が 2,109,119 円、収入の部に計上しております。「夢の桜街道積立金」が 3,500,000 円です。以上簡単ですが、平成 27 年度収支予算案のご説明を終わります。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。以上、第 2 号議案の 27 年度事業計画案と予算案について説明させていただきました。ここから皆さんからご意見、ご質問を承りたいと思いますので、遠慮なくどうぞ。

発言者（横尾さん）

県の方にお伺いしても良いのかと思いますが、予算書を見ると、昨年の 32,000,000 円から 17,000,000 円と 45%位ダウンしているのですが、原因は何かというと県の委託事業がかなりの数字でダウンしている。あえて言うと小水路へのごみトラップが出来なくなるということになり、終わりなのか、今後どうなるか県の方にお伺いしたい。

議長（柴田会長）

私の知っている範囲でお話してもよろしいでしょうか。県の担当の方は予算に関わることをうかつに出来るとか出来ないとかできないので考え方ですが、この小水路のごみトラップ設置については 2 年間行いました。3 年目については、今年度の予算は計上されておりませんが、県の考えとしては、小水路ごみトラップの有効性が証明されて、希望が多ければ予算化もこれから検討するというような状況だと聞いております。今年度は小水路ごみトラップをつけた所、5 箇所についてどのような状況か調べますが、今話したようにつけたことによる効果が非常に大きいことが証明されることと、各 35 の市町村でつけたいというような希望があれば、県は予算化することに前向きに検討したいという状況だとは聞いております。何か修正することがありましたら県からお願いします。

発言者（山形県循環型社会推進課 会田さん）

昨年と一昨年度にフォーラムさんをお願いをして、小水路の柵設置事業を委託していたわけですが、私どもの考えとしては一通り県内全域に柵を設置したということで、これ以上とりあえずは新たな柵設置は考えずに、柵の維持管理、効果の検証といったところを見て行く予定であります。会長さんもおっしゃられたとおり、柵の効果が非常にあるということと、あと設置希望が非常に多いとなれば、今後追加の柵設置も考えていきたいというところです。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。

先日、海岸漂着ごみの協議会がありまして、その会長さんから海岸のごみを減らすのに小水路でごみを止める、陸域部から川を通してごみを出さないようにするという考え方は斬新で非常に良い。これを2年で効果があるようにするのは難しいので、今後とも継続すべきではないかとの意見がありました。システムとしては非常に効果があるのではないかと思うけれども、まだ2年間なので、効果が明確になることは難しいかもしれないけれども、継続してそれを行っていきながら、それが非常に好ましいシステムだとなれば、我々としても県の方に改めて予算化を検討してもらおうという形にしていきたいと思っております。小水路でごみをとめて河川に出さない、海にごみを出さないという考え方は斬新だと褒められました。ただ、効果が上がるのは時間がかかる。この2年間だけで答えを出すのは早急すぎるのではないかというアドバイスを得たので、我々としては効果を測定しながら働きかけを進めていく形をとりたいと考えております。

よろしいでしょうか。

それではその他のことについて何かないでしょうか。

我々が何か新しい事業をやろうとしたとき、どちらかと言うと行政や社会の仕組みは長い時間かけたことはスムーズに行くけれども、反応がゆっくりなんです。ですから小水路の柵設置の1年目は35箇所の予算があったが、設置が8箇所で予算が減らされるという形になった。2年目になると36箇所設置して増えてきている。3年目になるともっと増えるのではないかと思うのですが、3年目の予算編成の時には、初年度の状況がどうだったかが資料になるのです。つまり35箇所の予算を組んだけれども8箇所位しかなく、箇所を探すのが大変だったのではないかということになる。地域では希望するところが無かったのではないですかということが予算編成の時に議論になってしまう。昨年度の36箇所で議論してくれば良いが、予算は少し早めにしなければならぬので、成果が出る前に予算が議論されることになる。そういうことがあって2年間位で成果が出たかどうかとなると、我々としてはきついなと感じるところであります。でも逆に言うと、我々が「こういうのがあるけどやりませんか」と働きかけた時に、市町村で直ぐに言ってもらえれば、県でも継続して予算が取れるのではないかなと思う。ところが何年かして、他のところの経過が良かったから自分のところでもやってみようかと3,4年過ぎてからやろうとすると、その事業が消えているということがあるので、35市町村とのコミュニケーションをどのようにとったら良いかが課題であると思っております。できれば市町村の方々からこういうことをやりたいということを言われて、それを受けて県と交渉して何か行っていくというのが一番良いと思っております。市町村についても予算の裏づけのないものをやりたいとは言わないので、我々としてはこのようなことがあると市町村に情報を提供した時にそれを「うちのところでやってみよう」と検討していただければありがたいと思っております。ただし、小水路については水利権があって市町村が中心となって行うことは難しいということがわかりました。土地改良区が中心になってやっていただき、非常にやり易くなったということです。そういうことで、これからは土地改良区で議論してくれると非常に良いのかという感じがします。これは我々の老婆心ですが、小水路でごみを取り上げたきれいな水で作った米という付加価値がついてくるのではないのでしょうか。農家の方にとってもごみがない、ごみを除いたきれいな水で作っているということが売り込む時のキ

ヤッチフリーズになるのではないかと考えています。水のきれいな里の米ということで、作り手にもメリットがあり、我々としたら川にごみをださないというメリットがあるという WIN-WIN の関係が続くとすれば、この小水路のごみについては希望が相当出てくるのではないかとと思うところですが、効果をどのようにアピールしたら良いかは課題ですが、川のごみを減らす工夫はこれからも進めていきたいと考えています。

そのほか皆さんから何かございませんか。何でも結構です。

(会場意見なし)

それでは、すべてのことについて、ご質問やご意見を頂く時間をあとでとりますので、特にご意見がなければ、第2号議案の平成27年度事業計画案と予算案については、原案のとおりお認めいただいたこととさせていただきます。よろしいでしょうか。

(会場拍手)

(3) 役員改選

議長（柴田会長）

ありがとうございました。

次に第3号議案について、事務局から説明させていただきます。

伊藤事務局長

第3号議案について、皆さんにお渡ししている議案書の最後のページで、スライドの方にも出ておりますが、役員改選でございます。通常総会より2年間ということで次期役員の方をご提案させていただきます。

顧問1名、運営委員25名、監事2名ということでございます。右側の新規に○印がある方が変更になった方々でございます。まずは、村山地域部会長に佐竹様、運営委員で米沢市長の安部様、本日はご欠席されております。それから金山町長の鈴木様。本日は代理の方が出席されております。監事といたしまして本日ご出席賜っております朝日町長の鈴木様です。以上その他につきましては従来どおりということでご提案させていただきます。

議長（柴田会長）

ただいま事務局から説明ありましたが、役員改選案について新規の方々をいれた新しい体制で進めていくかどうかについて皆さんのご意見を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(会場異議なし)

議長（柴田会長）

では、新しい4名の方々を入れた監事2名、運営委員25名、顧問1名の新しい役員体制で進めるということにさせていただきます。

ありがとうございました。

司会（片桐さん）

それではただいま決まりました役員をご紹介いたします。その場にお立ち下さい。

（新役員を紹介）

ここで、会員の皆様には休憩をはさんでいただきます。その間に臨時の運営委員会を開催いたします。

会長を互選し、その後会長より運営委員の中から副会長を指名していただきます。それでは新しい役員の皆様は1階102会議室へ移動をお願いします。

5分後の15時5分にこちらの会場で議事を再開いたしますので宜しくお願いいたします。

臨時運営委員会をはさむ

議長（柴田会長）

時間が過ぎましたので、議事を再開させていただきます。ただいまの運営委員会の協議について事務局から報告をお願いいたします。

伊藤事務局長

会長には引き続き、柴田洋雄会長が運営委員会で互選され、佐藤五郎副会長、井上みやま副会長が会長より指名されました。

（会場拍手）

議長（柴田会長）

拍手があったので、ご承認いただいたということかもしれませんが、これからも引き続き活動していきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

それでは運営委員会の協議のとおり会長が私、副会長は佐藤さんと井上さんの体制で進めたいと思います。

4. その他

議長（柴田会長）

本日の議事は以上ですが、その他ということで、まずは事務局からの報告があればよろしくお

願います。

伊藤事務局長

その他の報告資料で、会員数でございますが、現在 4,227 人で、1 年前から比べますと 136 人減少してる状況です。今後とも会員状況については、当然のことながら努力してまいります。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。そういう状況で会員数が減っているけれどもということですが、我々としても会員の確保については、今後とも力を入れていきたいと思っておりますので、皆さんも一緒になって会員の確保にはご協力をお願いいただければと思います。よろしく願いいたします。

その他のことについて、皆さんから今日のこと全般について何かご質問、ご意見がありましたら承りますので、何かございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

特に無ければこれを持って本日の総会を閉会としたいと思います。ご協力ありがとうございました。

司会（片桐さん）

柴田会長ありがとうございました。以上をもちまして、平成 27 年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を閉会いたします。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。